

令和3年度 W A M 助成 (通常助成事業) 募集開始!

WAM 独立行政法人福祉医療機構
Welfare And Medical Service Agency



令和3年度
WAM助成
募集のお知らせ
〈通常助成事業〉

コロナ禍の民間福祉活動を応援します!

応募締切

令和3年2月1日(月) PM5:00 まで

本事業の公募は、本来令和3年度予算が成立した後に行うべきものですが、できるだけ早期に事業を実施するために、予算成立前に行うことといたしました。そのため、予算の成立状況によっては、内容に変更が生じることがある点に留意してください。

目的 - 制度の狭間に対応する助成

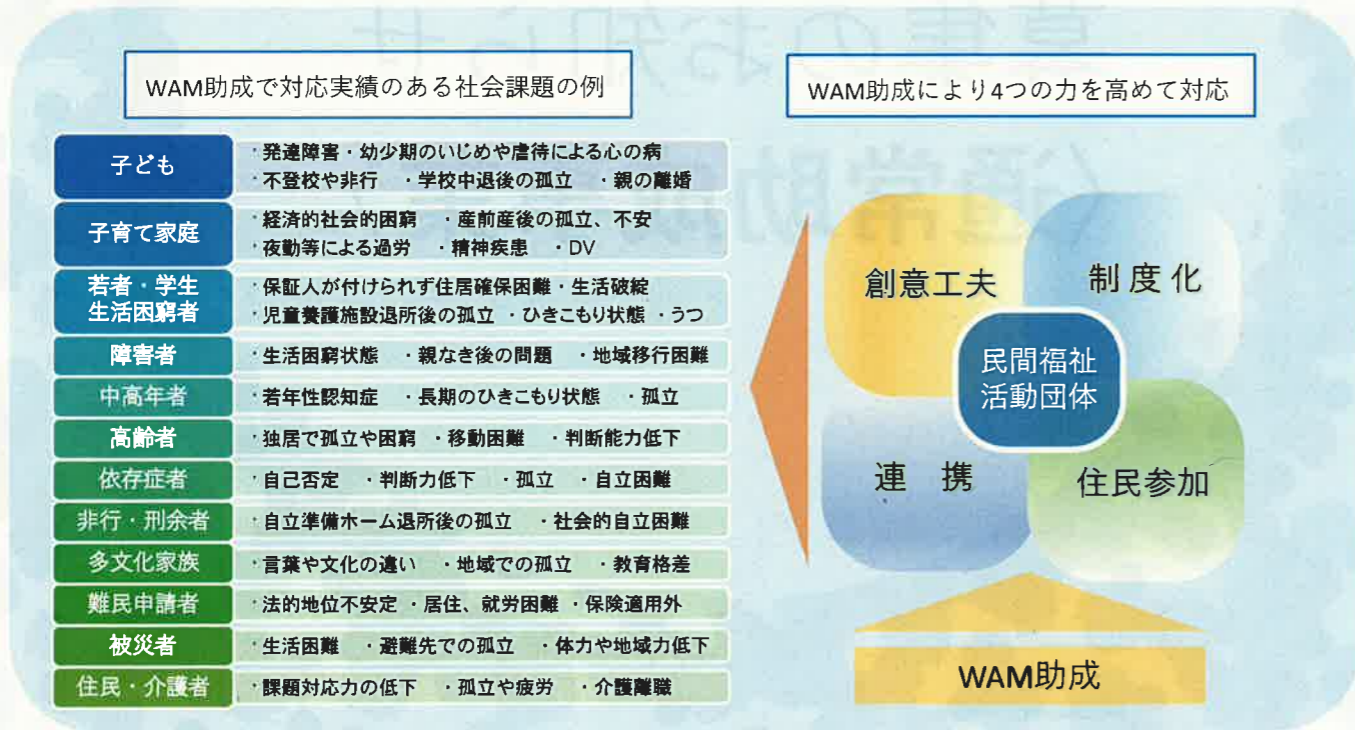
独立行政法人福祉医療機構（WAM）が行うWAM助成は、国庫補助金及び寄付金を助成金の財源とし、NPOやボランティア団体などが行う民間福祉活動に対して助成する制度です。

高齢者・障害者などが地域のつながりの中で自立した生活を送れるよう、また、子どもたちが健やかに安心して成長できるよう、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動に対して、助成というカタチでお手伝いしています。

WAM助成が後押しする4つの力

4つの力を高めることで、社会課題に対応する活動を後押しします。

- 分野横断的取り組みなど民間の**創意工夫**を活かした効果的な支援
- 制度化**・モデル事業化、社会への啓発を図る取り組み
- 異業種・多機関による**連携**・ネットワークの構築
- 地域共生社会に向けた支え手の育成や**住民参加**の促進



WAM助成はこうした声にお応えします

- 制度の狭間にある社会課題に取り組みたい
- 新事業の立上げや既存事業のステップアップを図りたい
- 行政等と関係構築を行い、協働や政策提案につなげたい
- 主たる活動とともに、人材育成や連携体制強化を図りたい
- 地域内又は広域的な相互連携を促進し自立化を目指したい

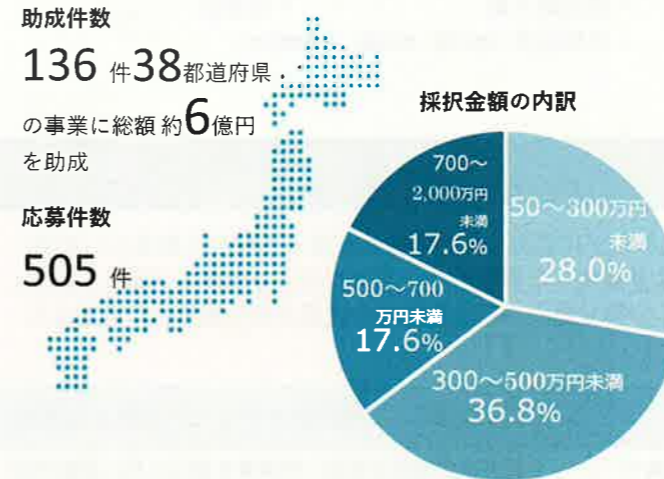
ご応募を
お待ちしております



実績データ

既存の制度だけでは対応が難しい社会課題に対する先駆的な取り組みや、地域の実情を踏まえたきめ細やかな取り組みに助成を行うことで、地域の福祉基盤の充実を図っています。

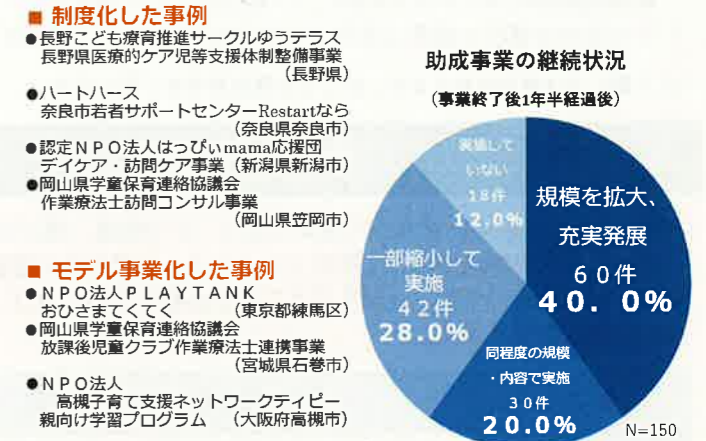
WAM助成の実績（令和元年度事業）



優良事例はWAMホームページをご覧ください。

WAM助成 優良事例 検索

WAM助成の成果（平成30年度事業）



上記事業名は、助成先団体がWAM助成で取り組んだ事業がもととなり、制度化・モデル事業化した国・自治体の事業名を掲載しています。

（平成30年度事業のフォローアップ調査結果より）

WAM助成の対象となるテーマ

複雑さを増す社会課題に対応するため、テーマを幅広く設けています。

- **安心につながる社会保障**
 - 1 安心して暮らせるための地域共生社会の実現に向けた包括的な支援に資する事業（※）
 - 2 求められる介護サービスを提供するための多様な人材の確保、生産性の向上に資する事業
 - 3 介護する家族の不安や悩みに応える相談機能の強化・支援体制の充実に資する事業
 - 4 介護に取り組む家族が介護休業・介護休暇を取得しやすい職場環境の整備に資する事業
 - 5 介護と仕事を両立させるための働き方改革の推進に資する事業
 - 6 元気で豊かな老後を送れる健康寿命の延伸に向けた取り組み強化及び高齢者への多様な就労の機会の確保に資する事業
 - 7 障害者、難病患者、がん患者等の活躍を支援する事業
- **夢をつむぐ子育て支援**
 - 8 結婚、子育ての希望実現の基盤となる若者の雇用安定・待遇改善に資する事業
 - 9 妊娠・出産・育児に関する各段階の負担・悩み・不安を切れ目なく解消するための支援事業
 - 10 子育てを家族で支える三世同居・近居しやすい環境づくりに資する事業
 - 11 出産後・子育て中も就業が可能な多様な保育サービスの充実・多様な人材の確保・生産性の向上に資する事業
 - 12 出産・子育ての現場である地域の実情に即した働き方改革の推進に資する事業
 - 13 希望する教育を受けることを阻む経済事情など様々な制約の克服に資する事業
 - 14 子育てが困難な状況にある家族・子供等への配慮・対策等の強化に資する事業

（※）テーマ1に関するキーワード：包括的支援、多世代交流、生活困窮、孤立防止、権利擁護、分野横断的取組など

WAMホームページにて、各テーマに関するキーワードを掲載しています。

1 WAM助成を受けられる対象者

- ・ 社会福祉法人
- ・ 医療法人
- ・ 公益法人（公益社団法人又は公益財団法人）
- ・ NPO法人（特定非営利活動法人）
- ・ 一般法人（法人税法上の非営利型法人の要件を満たす〔助成対象となる事業の実施期間中に移行するものを含む。〕一般社団法人又は一般財団法人）※
- ・ その他社会福祉の振興に寄与する事業を行う法人・団体※

※ に関しては要件があります。詳しくは募集要領をご覧ください。

2 WAM助成の対象となる経費

- ・ 謝金
- ・ 旅費
- ・ 賃金
- ・ 家賃
- ・ 光熱水費
- ・ 備品購入費
- ・ 消耗品費（燃料費、食材費、会議費含む）
- ・ 借料損料（会場借料含む）
- ・ 印刷製本費
- ・ 通信運搬費
- ・ 委託費
- ・ 雑役務費
- ・ 保険料

3 WAM助成の対象となる事業

次の(1)又は(2)のいずれかの事業であり、かつ前頁に掲げる助成テーマに該当し、応募団体が自ら主催する事業とします。
また、上記の事業であって新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズに対応する事業も対象とします。
なお、当該事業のうち、「緊急的な対応が必要なもの」及び「新しい取り組みの創出や既存の仕組み等の変革に対応するもの」に重点を置きます。

助成対象事業	(1) 地域連携活動支援事業	(2) 全国的・広域的ネットワーク活動支援事業
事業内容	地域の多様な社会資源を活用し、複数の団体が連携やネットワーク化を図り、社会福祉諸制度の対象外のニーズ、その他地域の様々な福祉ニーズに対応した地域に密着した事業（同一都道府県内）	全国又は広域的な普及・充実等を図るため、複数の団体が連携やネットワーク化を図り、相互にノウハウを共有し、社会福祉の振興に資する創意工夫ある事業又は社会福祉施策等を補完若しくは充実させる事業
＜要件①＞ 他の団体との 連携	核となる団体が他の団体（社会福祉法人、医療法人、NPO法人、公益法人、企業、自治体、ボランティア団体等）と相互に連携し、協力関係を築き実施する事業であること。	
＜要件②＞ 活動の範囲	同一の都道府県内で活動する事業であること。	二つ以上の都道府県で活動する等、支援する対象者が一つの都道府県域を超えて広域にわたる事業であること。
助成金額	50万円～700万円	50万円～900万円（注）

（注） 次のいずれかに該当し、当機構が設置する外部有識者からなる社会福祉振興助成事業審査・評価委員会が特に認める場合は、全国的・広域的ネットワーク活動支援事業において、2,000万円の範囲内で上記助成金額を超えることができます。

【災害支援等十分な資金の確保が必要な事業を行う場合】あるいは【4以上の都道府県を網羅し、大規模かつ広範囲に活動を行う事業の場合】

4 WAM助成の対象となる事業の実施期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

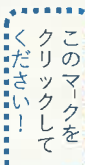
5 WAM助成の応募の方法など



※選定結果については、令和3年4月上旬を目処にWAMホームページで公開します。

※選定結果に関するお問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。

詳しくはWAMホームページ「募集要領」をご覧ください。
<https://www.wam.go.jp/hp/wamjosei/>



令和3年度 WAM助成
通常助成事業 募集中
締切：2/1（月）

令和3年度 WAM助成
モデル事業 募集中
締切：2/1（月）

WAM助成
ホームページへ



常設相談窓口 <WAM助成の応募に関するお問い合わせ先> 独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター
電話：03-3438-4756/03-3438-9942 月曜～金曜 9:00～17:00（祝祭日除く）